

- 一年を振り返り新たな決意を
- 進研模試の結果 (1、2 年)
- センター会場決定 (3 年)

「諦めの悪い男」

保健体育科 長谷川 正一郎

教員採用試験に落ちること 6 回。心が折れかけた回数数知れず。やっとの思いで合格を勝ち取り、教師として採用された時、私は独身 29 歳の完全なアラサー男子であった。

私は中学校、高校、大学とバスケットボールにすべての青春をささげ、部活漬けの日々を過ごしてきた人間である。日体大にいたっては、日本一のバスケ部ということもあり、部員の数も 150 名を超えていた。他の部活も日本トップレベルのため、部員数も半端ではない。にも関わらず、大学の体育館は 2 つのみ…。体育館が渋谷ハロウィン状態にならぬよう、体育館争奪戦が各部活の間で毎日のように起きていた。争奪戦に敗れた日の練習開始時間は 21 時。当然、規則正しい学校生活を過ごすのは困難であった。また、意外と思うかもしれないが、私はこう見えてあまり真面目な性格ではないため、学生時代、優等生とは真反対の学生生活を過ごしていた。部活のみに専念した大学生活は、気が付くと卒業も間近に迫っていた。周りの仲間が就活を終えようとしているころ、ようやく自分の置かれている状況がヤバイことに気が付いた。しかし、時すでに遅しであった。これまで適当に過ごしてきた日々のしっぺ返しを半沢直樹のドラマのごとく、数倍返しをくらった。卒業後、結局私が選択したのは、就職もせず、アルバイトをしながら、自分を見つめ直すという道だった。そんなある日、大学時代の仲間が結婚することになった。これまで、のらりくらりと人生を過ごしていたが、「あの〇〇が結婚する…」結婚という人生の節目を連想させる言葉を聞き、将来に対する焦りが一気に加速した。このままではマズイと…。

これまで『将来、本当にしたいことは何か?』という問いに、あまり明確な答えは見つからなかった。(だからこそ、適当に就職するのではなく、本当にやりたいことが見つかるまではフリーターでもいいと思ったのだ。)しかし、今回は違った。仲間の結婚をきっかけに、将来を真剣に考えた結果、「教師になりたい」むしろ「教師しかない」とまで思えるほど強い感情が沸いた。それからは、小学校や高校での非常勤講師、肢体不自由の生徒の介助員などをしながら教員採用試験を受け続けた。でも、本当に受からなかった…。学生時代もっとまじめに勉強してくればと何度も思った。自分は落ちるが、教員志望の周りは次々と合格していく現実。後輩に追い抜かれていく虚しさ。本当に悔しくて、自分が情けなくなった。教職の道を断念し、仕方なく就職するか…そう考える度に、スラムダンクの安西先生の名言が頭をよぎった。何度も何度も夢を諦めかけそうになったが、それでも最後まで私を励まし、支え、応援してくれたのは、他でもない家族である。私の教職浪人時代は、家族への感謝と申し訳なさ、それだけだった。そんな私の姿は、世間から言わせれば、完全な負け組だろう。そんな日々が合格を勝ち取るまで 4 年間ほど続いた。

2009 年 4 月、29 歳で始まった私の教員人生。学生時代は、まるで ONE PIECE の主人公、ルフィのように大胆かつ、自由奔放に過ごし、大学卒業後まろくに就職もしなかったこんな自分を最後まで見捨てず、諦めることなく応援してくれた両親。感謝しかない…。感謝以外の言葉があればいいのにと考えたほどだ。

そんな母が 2 年前に他界した。66 歳であった。もう直接感謝を伝えることができなくなってしまった。だからこそ、これだけは君たちに言いたい。いつか伝えようと思って後回しにしていたら、後悔する日が必ず来る。「明日やろうはバカ野郎」伝えたい思いは、その時、ちゃんと伝えなければいけない。君たちが生きているのは今。今を大切に、今を全力で生きてほしい。長々と書いてしまったが、結局何が伝えたかったかというと、

1つ、何事にも諦めることなく、今を一生懸命、全力で生きていけば出来ないことはない！君たちは、やればできる子、YDK！

2つ、自分を思ってくれている人を大切に！感謝の気持ちはその時ちゃんと伝えること！

最後に、両親が“諦めることなく”応援してくれた私の教員人生も10年目を向かえ、私事ではあるが、今年ようやく私生活でも幸せを掴むことができた。色んな意味での遅咲きルーキー、長谷川正一郎39歳。親譲りの“諦めの悪さ”が招いた、完全なアラフォー男子の粘り勝ち。令和2年も納豆のように粘り強くやっ払いこうと思う今日この頃である。

□ 一年を振り返り、新たな決意を

今年も残すところわずかになってしまいました。あと七日ほどで2019年が終わります。今年一年どんな年だったか、この機会に振り返って自分を見つめ、来年の飛躍につなげてください。

一年前の今頃、1年生はまだ中学生で、高校受験を目の前にして必死に勉強していました。その甲斐あってみごと新宿高校に合格。希望を胸に入学してきたはずです。その時の決意をもう一度思い出しておきましょう。

2年生の皆さんは学校の中心学年として活躍した一年間でしたが、この先にあるのは3年0学期。今が切り替えの時です。2年生までに終わらせておくべき課題は、この冬休みから計画的に取り組み、ベストの状態です3学年を迎えましょう。

そして3年生諸君。いよいよ追い込みです。実力を遺憾なく発揮できるよう体調管理に万全を期してください。四月には人生の新しいステージが待っているはず。 「つらいときには、四月に自分はどこにいるのか、そこにいる自分を何度も思い描いた」と先輩が合格体験記に書いています。意志あるところに道は開ける。頑張りましょう！

ただし、思い通りにならないことがあってもあまりくよくよせず、人生万事塞翁が馬の精神で大きく構えることも必要です。受験結果は確かに大事ですが、受験だけで人生が決まるわけでもありません。少し気持ちをらくにして、これからの数ヶ月を乗り切ってください。

○進研模試の結果（1・2年）返却

11月6日（水）に実施した進研模試の結果が返却されました。全体的な傾向としては、1年生の数学は平均偏差値4.2ポイントアップと目を見張る

ものがあり、また国語も堅調でした。その半面、英語の伸びに課題が残りました。2年生は7月の模試に比べ、数学が下がってしまいましたが、その他の教科は、ある程度思うような結果になったようです。もちろんこれは平均値の話であって、個々の生徒を見ると頑張っている人は大勢います。肝心なのは自分がどうだったかということですから、平均偏差値は関係ないと言えなくもないです。

しかし、こうした平均値は教室での活気や学習意欲に微妙に影響するものです。

一人一人の努力が必要です。そしてその結果として、新宿高校全体で、じわりじわりと成績を上げていこうという気運が必要です。いま皆さんのクラスはそういう雰囲気になっているのでしょうか？

自分の学習習慣をもう一度振り返ってみましょう。

○センター試験会場決定

センター試験の受験票が届きました。今年以下5会場です。

- ・東京農工大学
- ・東京外国語大学
- ・東京女子大学
- ・杏林大学
- ・亜細亜大学

受験教科・科目の種類によって会場が割り振られているようです。3年生は自分の受験票で試験会場を確認してください。また、冬休み中に会場の下見をしておくことをお勧めします。

受験票と一緒に「受験上の注意」という冊子が配布されました。冊子右上に「重要」と書かれているように、とても大切な冊子です。冬休み中に冊子を熟読してください。例えば次のようなことについて書かれています。

- Q受験票の確認のポイントは？
- Q写真票に使える写真は？
- Q当日、受験票や写真票を忘れたらどうする？
- Q何分までの遅刻なら許されるのか？
- Q上履きは持参するのか？
- Qインフルエンザやノロウイルスに感染したら？
- Qマークするのに鉛筆以外も使えるか？
- Q机に置いていいものは？
- Q集中するために耳栓は使えるか？
- Qコート類を着て受験してよいか？
- Q座布団や膝掛けは使ってよいか？
- Q定規やコンパスは使えるか？
- QリスニングのICプレーヤーが不調の時は？
- Q直前の怪我で受験できないときは？
- Q当日の朝、電車が止まって間に合わない時は？
- Q追試の試験会場は？そもそも追試って？

これらは抜粋です。もっと重要なことも書いてあります。熟読してください。

1月15日(水)の3年生学年集会でセンター試験についての諸注意を行います。その時にこの「受験上の注意」の冊子を用いて説明しますので、当日は必ず持参してください。さらに、センター試験当日もこの冊子を会場まで持参することになっています。学校に予備はありません。もらったら名前を書いておきましょう。

○センター試験自己採点 (3年)

センター試験の翌日は自己採点日。全員1時間目から登校してください。自己採点した結果は河合塾と駿台ベネッセにそれぞれ提出します。全国の高等

学校で同じ作業が行われています。各予備校はこのデータを集計し、どの大学にどの程度の志望者が集まっているか、合格可能性はどのくらいかを判定してくれます。この結果を踏まえて国立2次の出願を最終決定します。

作業は午前中には終わります。

○センター試験後の特別講習 (3年)

自己採点日の翌日、21日(火)から23日(木)までの3日間、3年生は特別講習になります。この講習は、それまでのセンターの勉強から2次試験の記述に切り替えるための講習です。近く、時間割が発表になりますので期限までに申し込みを行ってください。

【今後の予定】

- 全校集会 大掃除 12/25
- 特別考査1、2年 1/8
- センター決起集会 3年 1/15
- センター試験 1/18、19
- センターリサーチ(自己採点) 1/20
- 特別講習3年 1/21~23
- センターリサーチ返却 3年 1/24
- 国公立2次出願 1/27~2/5(前中後期)
- 都立推薦入試 1/26、27

先輩からの言葉

アウトプットなければインプットなし

グローバル・ポリシー研究センター代表
関西学院大学フェロー

21回生 小池 洋次

〇 出会いが人生を変えるとありますが、私にとっても母校、新宿高校での経験がそうでした。高校2年生の時、仲間との飲み会（もちろん、ジュースで）の際、友人の一人からカントからヘーゲル、マルクスに至る哲学の歴史を聞いた時のことです。衝撃的でした。特にマルクスに関心を持ち、受験勉強の最中に思想書を読みふけていました。

この友人の影響で、私は進路を理系から文系に変え、その後、横浜国立大学の経済学部に進み、卒業後は日本経済新聞の記者となりました。それから35年後、関西学院大学の教授となり、その10年後、いまも研究や教育に関わっています。

以上が私の高校時代からの簡単な振り返りで、ここからが本題です。

記者として、そして教員としてよく思い出す言葉が、タイトルにした「アウトプットなければインプットなし」です。この言葉を教えてくれたのは、先輩のスター記者でした。私は駆け出しのころで、その時は何となく分かったような気がしていましたが、正直なところ、この言葉を深く理解していたわけはありません。

妙なタイトルと思われるかもしれませんが。一般的にはインプット(入り)があるからアウトプット(出)をできると思うでしょう。例えば、何か発表するときにはいろいろ調べておく必要がありますね。では、アウトプットが先とはどういうことなのでしょうか。

記者という仕事は、多くの人々に会い、いろいろな場面に遭遇しますが、記事を書くつもりでなければ、ただ「面白い」で終わってしまいがちです。記事は老若男女に読んでもらわなければなりませんから、誰にでも分かるように書く必要があります。当然ながら、自分が正確に、そして深く理解していなければなりません。アウトプットが前提であるからこそ、問題への理解が深まり、どのような人にもわかってもらえるように表現できるのです。

教員についても同じことが言えるでしょう。授業で伝えるという目的がなければ、いろいろな情報に接しても、「なるほど」「ああそうか」で終わってしまいます。授業は教員にとってのアウトプットです。人に説明できるほどに理解を深めるためには、この前提が必要なのです。

同じようなことはいろいろな場面で言えます。「アウトプットなければインプットなし」は、コミュニケーションの在り方、さらには生き方に関わることのように思います。アウトプットとは情報の発信や自己表現のことですから、その手段には文章を書い

たり発表したりするだけでなく、分野は音楽や絵画など多岐にわたります。

さて、皆さんのアウトプットは何でしょうか。本で読んだことや見たこと聞いたこと、さらに授業の内容を友人や家族に話すこともあるでしょう。日記に書く人もいるかもしれません。それもアウトプットです。その前提があれば、一生懸命に読もうとし、授業内容をしっかり理解しようとするでしょう。絵画を鑑賞し、それを友人に説明するときも同じことです。

私はこれまでの経験から、メモを取るときもアウトプットを意識するようにしています。人の話を聞き、知ろうとするときは、様々な意味で感受性が高まってきます。言葉一つひとつに何かを感じるはずで、刺激を受けて、いろいろなことに気づき、またアイデアを得ることでしょう。それをメモに残しておくことが大事なのです。メモに自分の考えを残すことは大事なアウトプットなのです。それを前提にしてみると、授業や講演会での聞き方が変わってきます。受け身ではなくて、自分が何かを生み出すための刺激を受けることに気が付くでしょう。

何にどうメモするかは個人の好みによりますが、私の場合、いわば「A4方式」です。A4のコピー用紙を半分に切って、それぞれを3つに折り、裏表を通じて合計12のスペースに書くのです。アウトプットが大事ですから、それぞれのスペースを縦長に持って、左半分に聞いた内容を、右半分に自分が感じたこと、思いついたことを書きます。A4の紙ならどこにでもありますね。各種の連絡や資料、パンフレットはほとんどがA4サイズで、その裏側も十分に活用できます。

大学の授業で、いつも学生にコメントカードを書いてもらっているのですが、このアウトプット・インプット論に反応する学生が多かったので、今回、紹介した次第です。大学生や社会人にも気が付いていない人が多いかもしれません。それだけに、高校生の皆さんにはいまから実践してもらいたと思います。将来、きっと大きな成果を得られるでしょう。

